

生活支援のあり方を考える

本誌は今号より「響き合う街で」という誌名で新たなスタートを切った。間もなく21世紀を迎えようといういまこそ、人と人とが語り合い、響き合い、自分らしい暮らしを実現し、新たな何かを生み出そう、そんな思いがこめられている。今号の特集も「生活支援」に焦点が絞られている。昨年8月に開催された第3回地域精神保健・福祉研究会の報告であるが、ことに「震災」にどう取り組むか企画会議でたびたび議論された。一瞬にして崩れた生活をどう建て直していくのか、共に考え、学んでいこうと企画された。報告も、それを受けた討論も、密度の濃い内容となった。司会はやどかり研究所の藤井達也氏と松田正己氏が担当した。研究会を記録化し、そこからの学びを多くの方と共有し、積み重ねていきたいものである。